

美濃全野紙(往復用)

13/8/7

中森寛三

生田川、宇治川、淡川、水源山地。

災害調査報告摘要

中森寛三

(一) 昭和十三年七月五日神戸地方災害河川。

(二) 武庫川上流 仁川 座頭石 船坂川

(三) 芦屋川

(四) 住吉川

(五) 大石川(都賀川)

(六) 生田川一本流
草川

布引貯水池

庚江排水

金井

坂口排水

調査

(七) 宇治川

再度谷川

中森技術企画

(八) 湿川

天王川(有馬道)

石井川

鳥取縣水地

(九) 紗法寺川

(1) 千森川

(2) 災害、原因

山津浪(土石流)

(3) 山津浪、成因

雨量	一時間最大	田七 燒	(七月五日前 0.118)
神戶測候所記録	五太、五	(大正一四、九、一八)	神戶測候所記録
日本、記録	二三三	(明治四八、一六)	日本、記録
東京	大九、二	(明治四八、一六)	東京
京都	八三、四	(大正七八、一五)	京都
一日最大雨量	三二六、四	(四日正午—五日正午)	一日最大雨量
神戶測候所從來記録	二〇、四、七	(明治四三、九、大)	神戶測候所從來記録
日本	一〇、一一〇	(大正一二)	日本
五九、大九	五九、大九	(明治三九)	五九、大九
彦根	八三、四	(大正七八、一五)	彦根
總雨量	四六一八	(七月三日前 0.115 五日午後二時迄)	總雨量

中川納

美濃全野紙(往復用)

自然的成因

四時間雨量 一六六、二 (五日午前八時—十二時)

地質地勢、背山帶花崗岩(角閃石含)

在八平地雨量十七七山地八參割力多量

平地八冲積層及一部半純層(木倉、長田)

山地、土壤:花崗岩風化土厚一米外?

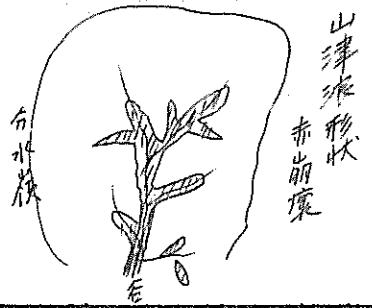
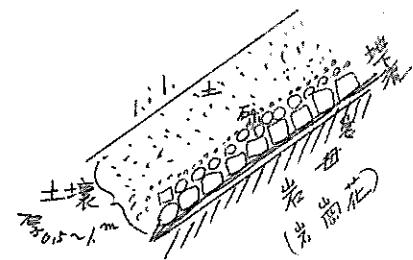
山地八急峻

溪流、急流 溪流方向:南北
急流原因:背山南部、斷層、陷沒?人為的成因=人爲、道路:切取面急峻、盛土面不備
排水設備不良、再度山下ダム空入

尾地開板

(4) 山津浪、狀況

山腹崩落状況



(五) 成因 = 依ル分類	
(1) 天王川一部	急峻ヲ原因トスルモノ、一ヶ所
A. 地勢 = 依ルモノ / 山腹凹所原因トスルモノ	五ヶ所
B. 人為的原因 = 依ルモノ / 道路尾地開板	七ヶ所
計	八ヶ所
(2) 生田川支流川谷一部	洗堰ヲ原因トスルモノ
急峻ヲ原因トスルモノ	八ヶ所
人為的原因	一ヶ所
計	九ヶ所

中川納

美濃全野紙(往復用)

A. 地勢 = 依ルモノ / 山腹凹所原因トスルモノ	六ヶ所
洗堰ヲ原因トスルモノ	三ヶ所
B. 人為的原因 = 依ルモノ	五ヶ所

計

四ヶ所

一ヶ所

右二例八人為的原因少十キモ、一般六五ヶ所大モニナラサルカ?

(六) 山津波ト林相トノ關係

一樹種、黑松赤松杉檜櫟楠等草生

一樹齡、老松100~150年松普通40~50年

今田、山津波ハ若林地夾普通のニ起砂大故ニ林相ノ關係調査困難ニシテ寧口樹種樹齡、關係極小ナリナルカ

今前項、成因別ノ樹種別ニスル中八

内務省水防局土木監修課

位置	区別	松林地		雜木地		草生地		計	摘要
		天王川流域	数量	三 二 一 竹	大 小 竹	四 二 一 所	一 二 所		
草川	比	5/16	34.	40.9%	8.9%	42.9%	100.9%	4.2%	10.4%

一面天王川ハ草山多キタ以テ草山津浪多ク又草川ハ松
林多キタ以テ其割合多シト云ヒ得ベシ
樹木存在、利無、根依リ岩盤ト土壤ト密着ア助ケン

左 害
1. 樹木動搖、倒壊、崩壊シ易ム
2. 樹木腐敗、倒壊、雨水滲透多ク、地下流形成シ易ム
3. 樹木倒壊流失、下流災害ヲ大甚ム

(七) 下流災害

一 生田川 布引、激流ヲ下レバ草川ヲ含シ暗渠ニ入

美濃全野紙(往復用)

中川納

暗渠、開鎻ヘ直ニ旧生田川(加納町)=炭進シ川崎邸ヲ一
右ニニス、暗渠口、加納町、堆積土砂多量
ニ宇治川、再度右、激流住宅ヲ右ニ大百、住宅ヲ押
流シ砂、山ヲ築ク

三 豊川 天王川石井川ハ直ニ暗渠ヲ埋メ荒田町ヨリ
東南ニ走リ幾多、生靈ヲ奪ヒ廢墟化ス

四、下流災害、原因

- A. 砂石木材、流生タルト上、
- B. 急流ナルト上、
- C. 石生産地ト布衝地ガ近距離ニアルコト、
- D. 好ミテ激流及山地ヲ開板シタルコト、
- E. 何等、非常設備ヲ暗渠化シタルコト、
- F. 坡度、橋梁ハ流失スルコトナク泥濘ヲ助長ス

(八) 山津浪、予防

一津浪、恐アル山腹凹所、桟又ハ水路石張、ヲ設クルコト。

ニ主要根ガ岩盤以下ニ達スル樹木ヲ見スルコト。

三有害樹ヲ無害樹ニ更新スルコト

四渓流山地、取締ヲ嚴シタルコト

五神戸背山ハ神戸市等、收用シ、貫シタル治水策ヲ施スコト。
以上何レモ困難ニシテ実現性ニ乏シ、依テ被害、防止策ニ集
中サレバ。

(九) 被害、防止

堰堤及護岸、設置

堰堤ハ高ニ9米以上、大規模ノモ、設置セサルハカ
ラズ

中川納

1. 既設砂防工事、効果

猿川上流生田川上流、既成地ハ地質上ヨリシテ山津
浪起リ得(土壤ナシ)、破山附近、積苗エハ健在ス。(
之ヘドライアウエイ改置併施工シタルモ、隣地ニ岩壩瓦モ良ク保持ス)

堰堤ハ小規模ニシテ今固、加ノ大津浪ニハ無力ナレ
共合ニ應ジタル効果ハ僅ナリ。別々所ナレド武庫
川上流迄瀬川、座頭石ハ最も良ク堰堤効果ヲ发挥シタリ
②鳥原、布引貯水池、効果、

鳥原貯水池、貯砂量推定? 30万立米(貯水量一百四十五万立米)
布引?

? 40万立米(貯水量七万立米)
立刷、相

右、土量?、尚神戸市街ニ追送シタルモ、損傷八寳
ニ恐レキモノナレバ其逆ヨリシテ、下田ハ大麥下流、災
害予防ニ役立キタリ。